

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	赤井睦美	1. 協働のまちづくりは健康から！	<p>2015年に健康増進計画が策定され、「『町はみなさんの健康づくりの応援団!』、町民一人ひとりが自分らしい生活を尊重しながらも、お互いに協力し支え合って健康づくりに取り組み、心豊かに生活を楽しめる町を目指します。」と、とても心強いメッセージが書かれています。今までいろいろな検診を通して、町民の健康を見守ってきたと思いますが、コロナ感染によって町民も行政もままならない状況になってしまいました。自分自身の健康管理は町民一人ひとりの責任ですが、検診や相談など行政側との協働があつてこそ大きな成果が出るものと、大いに期待しています。</p> <p>そこで、健康増進計画策定後も、町民アンケート等を行うなど、目標に向かって前進していると思いますが、現在の進捗状況と今後の取り組みについてお聞かせください。</p>	町長
		2. 町の元気は協働で！	<p>2011年に自治基本条例を策定し、自治の主体は町民であるということを基本とし、まちづくりにおける町民と行政の役割も明確にしています。このことから、町民の考えを生かし、まちづくりに反映するためにも、以前行われていた『チャレンジ基金』を再度行ってはどうかと提案しましたが、特定企業の利益に流用されたとのことから、提案は受け入れられませんでした。そこで、今度は、町民と行政がともに知恵を出し合い、町を元気にするための仕組みづくりを提案します。</p> <p>既に全国色々なところで実践されていますが、心も体も健康で住みよいまちを目指すために、各種団体やグループ、町内会など、町民が自発的に計画し、行政が補助率や上限も決めた中で、提案された意見に関係する課が、一緒に計画の推進に関わっていくという取り組みです。何年も実践している金沢市のような自治体からは、「町民の意識改革はもちろん、町民力も職員力も向上している。」との声が上がっています。</p> <p>是非、八雲町でも、みんなでまちを盛り上げていく町民力を生かしていきませんか？町長のお考えをお伺いします。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	横田喜世志	1. 会計年度任用職員から正規職員への道を	町長は、先日、職員を募集しても応募してくれないと言われておられました。以前、職員は足りているのかと質問させていただいた事があります。その時に、臨時職員を正規職員に雇用すべきではと言った覚えがあります。時政も変わってきているので、改めて見解を伺います。	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	齋藤 實	1. 地域再生に「半農半X」の活用を	<p>仕事を続けながら農業にも携わる「半農半X」と呼ばれる働き方への注目度が高まっている。従来の兼業農家は、もともとの農業者が営農以外の収入を求めるのが一般的である。これに対し「半農半X」は、それまでの仕事を続けながら農業を生活の基盤とするライフスタイルをめざすものです。熊石再生に「半農半X」を活用しながら地域での活用可能な地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでになく他分野と組み合わせる取組であり、創意工夫を考えると夢がある政策になると考える。</p> <p>地域の課題の明確化、課題解決に向けた話し合い、課題解決に取り組む組織の必要性等、挑戦する事は、地域のイノベーションを生む好機にもなると考えるが、町長の考えを伺います。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
5	三澤公雄	<p>1. 性教育の授業は有用に変わっただろうか？</p> <p>2. 差別意識からの決別宣言をしてみよう！</p>	<p>文部科学省は、来年度から「生命(いのち)の安全教育」という教材を全国展開するようだ。</p> <p>これは「みずぎでかくれるところは、じぶんだけのだいじなところだよ。」とイラストと一緒に表記するらしい。この事を教える事は、私も2020年9月の定例会で指摘した点でもあり、有用だとは思う。しかし、いまだ、この程度か!?!とがっかりもします。</p> <p>八雲町教育委員会では、教育長も性教育の充実に理解された、と質問後には受け止めているので、文部科学省のレベルよりは充実させて、日本の著しく低いジェンダーギャップ指数の向上の一助となる性教育を進めていると思っています。</p> <p>現状はどうなっているのかお知らせください。</p> <p>今回のウクライナからの避難民の受け入れ政策並びに日本語学校の展開方法には…うなりました。お見事!!の一語に尽きます。</p> <p>まだ国の動向が定まらないので、八雲町で受け入れになるのかどうか判らない状況の今だからこそ、もう一歩前進する提案をしたい!!</p> <p>表明したようにウクライナの方々だけでなく、広く外国籍の方々が八雲町で暮らしていく為には、町民の中に無意識の中にある差別意識を無くす取組みを“町”が先頭に立ってやるべきだ。(例えば〇〇人とかの発言には、何がしかの蔑視が含まれていると私は感じている。)</p> <p>「八雲町はあらゆる差別意識から決別します!」という宣言をして、課題解決の施策へと進むのも一手ではないだろうか?町長の考えをお伺いします。</p>	<p>教育長</p> <p>町長</p>

